

中央区 総合交通計画 2022



令和 4 (2022) 年 3 月
中央区

目 次

計 画 編	1
1. 中央区総合交通計画とは	2
1.1 中央区総合交通計画の目的と背景	2
1.2 位置付け	3
2. 中央区の現況	4
2.1 中央区の概況	4
2.2 区内の交通	14
3. 中央区の交通に関する課題	52
4. 交通の基本理念・目標及びまちの将来イメージ	54
4.1 目標	55
4.2 中央区が目指す交通まちづくりのイメージ	56
5. 中央区総合交通計画の実現に向けた施策	57
戦 略 編	58
6. 実施する施策と事業	59
7. 計画推進に向けた取組・推進体制	90
7.1 計画推進に向けた取組	90
7.2 推進体制	90
7.3 今後の展望	91
参 考 資 料	92
資料 1 中央区地域公共交通会議・交通戦略部会 構成員名簿	93
資料 2 審議経過	94
用 語 解 説	95

計 画 編

1. 中央区総合交通計画とは

1.1 中央区総合交通計画の目的と背景

中央区総合交通計画は、人口増加に伴って増大する交通需要への対応や、交通弱者等の移動の支援などの都市交通課題を解決することを目的として、平成24年6月に策定されました。

中央区は本計画を交通政策のマスタープランとし、交通政策を総合的に推進するための各種施策を「計画編」に、その実行スケジュールや役割分担を「戦略編」にまとめ、これまでさまざまな施策に取り組んできました。

一方、計画策定後10年が経過し、この間、本計画の上位計画となる「中央区基本構想」（平成29年6月）、「中央区基本計画2018」（平成30年3月）が改定されました。

また、都心部・臨海地域地下鉄構想の交通政策審議会答申への位置付け（平成28年4月）や、環状第2号線の暫定開通（平成30年11月）、東京BRTのプレ運行（一次）の開始（令和2年10月）など、本区を取り巻く交通環境も大きく変化しています。

さらに、ゼロカーボンシティの取組の拡がりを始め、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とする個別配送サービスの需要拡大や、テレワーク等の普及による公共交通機関の経営への影響など、社会情勢の変化も交通政策に新たな課題をもたらしています。

このような状況を踏まえ、令和3年度には、改定年次を迎える「戦略編」の改定に加え、「計画編」の一部見直しを併せて行うこととしました。

この新たな中央区総合交通計画のもと、中央区基本構想に掲げる本区の将来像である「輝く未来へ橋をかける ― 人が集まる粋なまち」の実現に向けた取組をより一層加速してまいります。

1.2 位置付け

本計画は、「中央区基本構想」及び「中央区基本計画 2018」を上位計画とするとともに、中央区の「中央区緑の基本計画」や「中央区環境行動計画 2018」、東京都の『『未来の東京』戦略』、「東京都長期ビジョン」等を関連計画とし、区の将来像を実現するための計画です。対象地域は中央区全域とし、徒歩、自転車、公共交通、自動車、物流等の交通全般に関する今後のあるべき姿を示しています。

計画編は、中長期を見越した交通のあるべき姿や方向性、その実現のための方針や方法の大枠を示すものであり、計画期間を 20 年間とします。戦略編は、短・中期の間に実施すべき施策とその役割分担等を示す実行計画であり、計画期間を 10 年間とします。

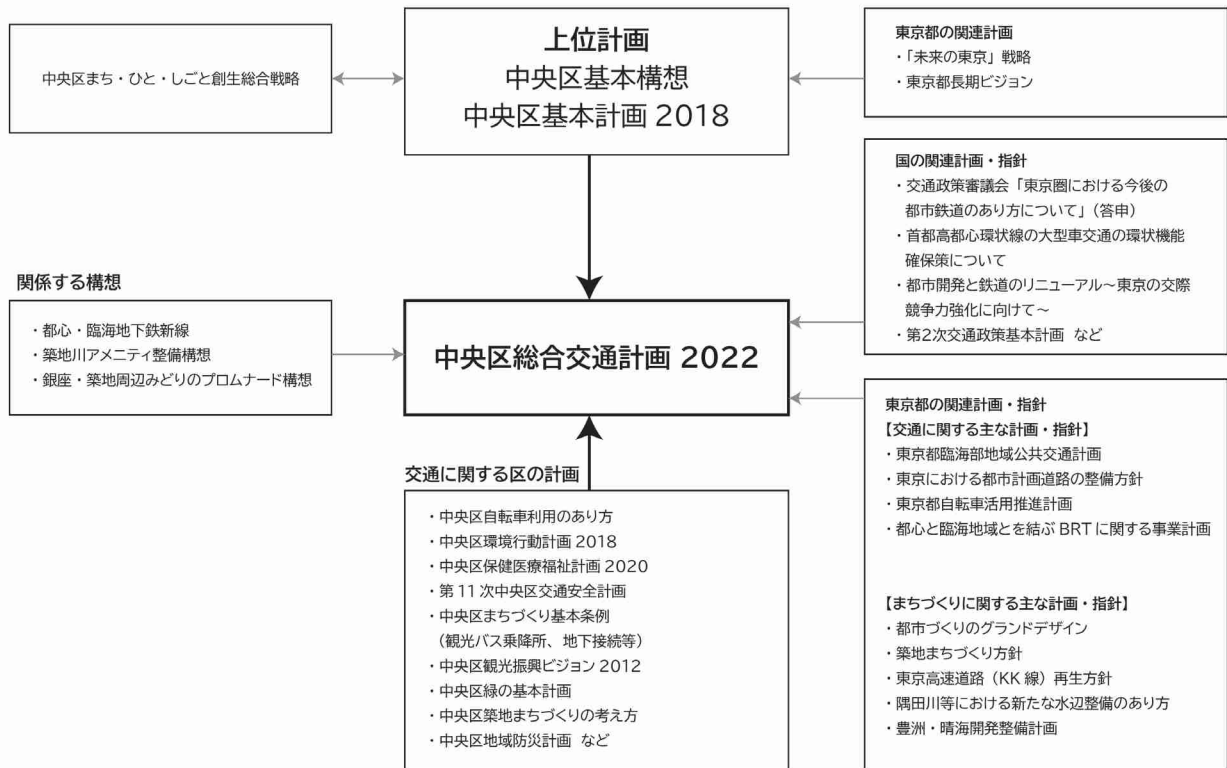


図 1 中央区総合交通計画の位置付け

表 1 中央区総合交通計画の対象区域・対象とする交通・計画期間

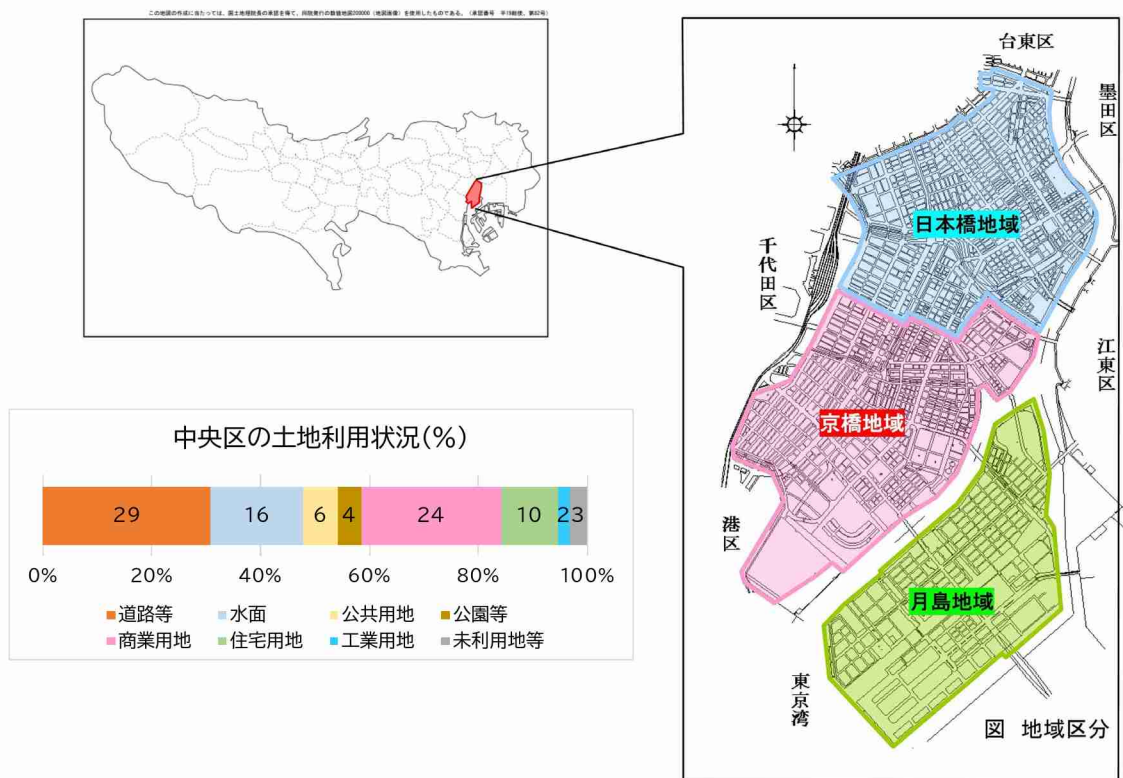
対象区域	中央区全域	
対象とする交通	徒歩、自転車、公共交通、自動車、物流等	
計画期間	計画編	平成 24 (2012) 年度から令和 13 (2031) 年度まで (20 年間)
	戦略編	令和 4 (2022) 年度から令和 13 (2031) 年度まで (10 年間)

2. 中央区の現況

2.1 中央区の概況

2.1.1 地勢

- 中央区の面積は約10.115km²で、東京都総面積の約0.46%、区部総面積の約1.61%を占めています。これは、23区で2番目に小さい面積です。
- 東京23区のほぼ中央に位置し、5区(千代田・港・台東・墨田・江東)と接しています。また、東側は隅田川、北側は神田川、南側は東京湾に接し、区内を日本橋川と亀島川が流れています。
- 本区は、京橋地域、日本橋地域、月島地域の3地域から構成されています。
- 大部分の土地は、江戸時代以降の埋め立てによりできたため、起伏にとぼしく傾斜は緩慢です。
- 土地利用の割合は、道路等が約29%、水面が約16%、公共用地が約6%、公園等が約4%あり、公共系の土地利用が約57%を占めています。そのほかは、商業用地が約24%、住宅用地が約10%、工業用地が約2%となっています。隅田川及び神田川の河川部を除く区全域が市街化区域となっており、用途地域区分は大半が商業地域となっています。



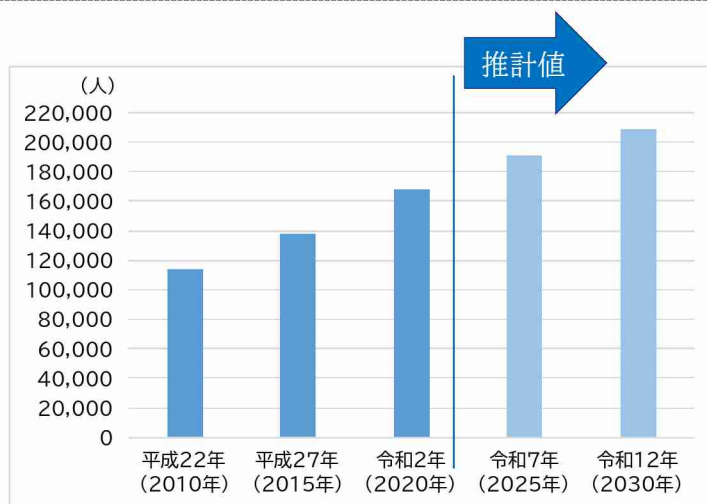
資料：地域区分（中央区、令和3（2021）年）
東京の土地利用 平成28年東京都区部（東京都、平成28（2016）年）を基に作成
* グラフの数字は端数処理の関係上、合計値が一致しない場合がある

図2 地域区分と土地利用状況

2.1.2 人口

(1) 概況

- 人口は、平成22(2010)年時点で11万人をやや上回っていましたが、定住人口回復施策と近年の都心回帰現象との相乗効果により増加傾向が続き、令和2(2020)年には16万人を超えています。
- 今後も増加を続け、令和12(2030)年には20万人を上回ると予測されています。
- 昼間人口は約60万人あり、都心の業務機能や都市活動を支えています。当面現在と同程度の規模で推移し、将来的には緩やかに減少していくものと予想されています。



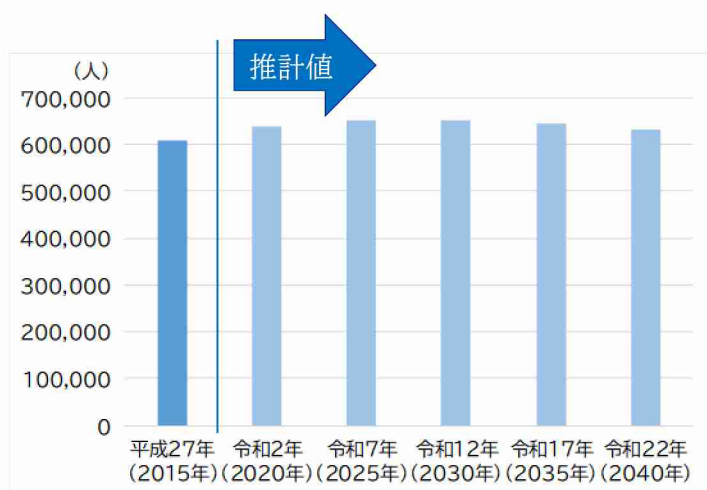
資料：中央区将来人口の見通しについて（中央区）を基に作成

*令和2（2020）年までは住民基本台帳による実績値

*令和7（2025）年以降は「中央区将来人口の見通しについて（中央区）」に基づく推計値

*本推計は、令和3年（2021）1月1日を基準日とした人口推計を基に、令和3（2021）年4月1日時点で修正を行ったものです。

図3 夜間人口の推移



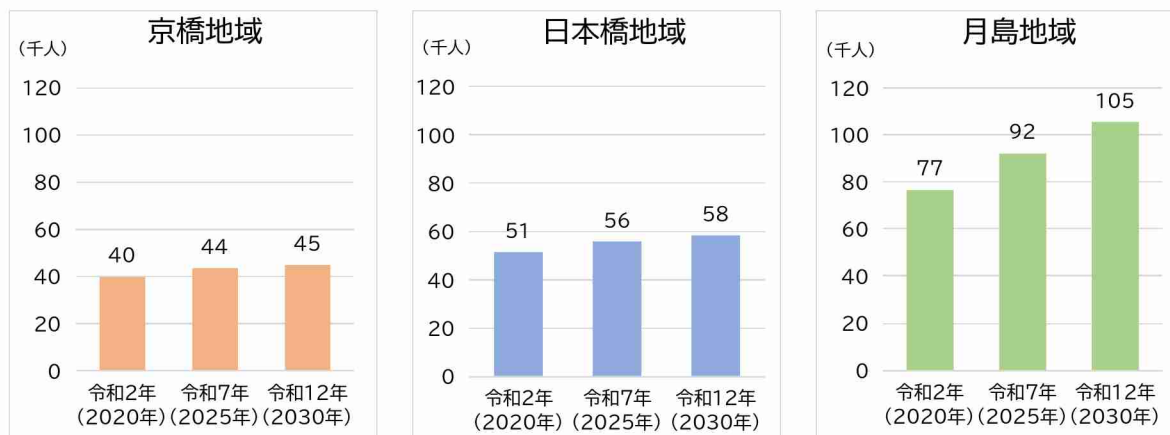
資料：東京都昼間人口の予測（東京都、令和2（2020）年3月）を基に作成

*基準人口は平成27（2015）年10月1日の総務省統計局「平成27年国勢調査」による数値

図4 昼間人口の推移

(2) 地域別の人口

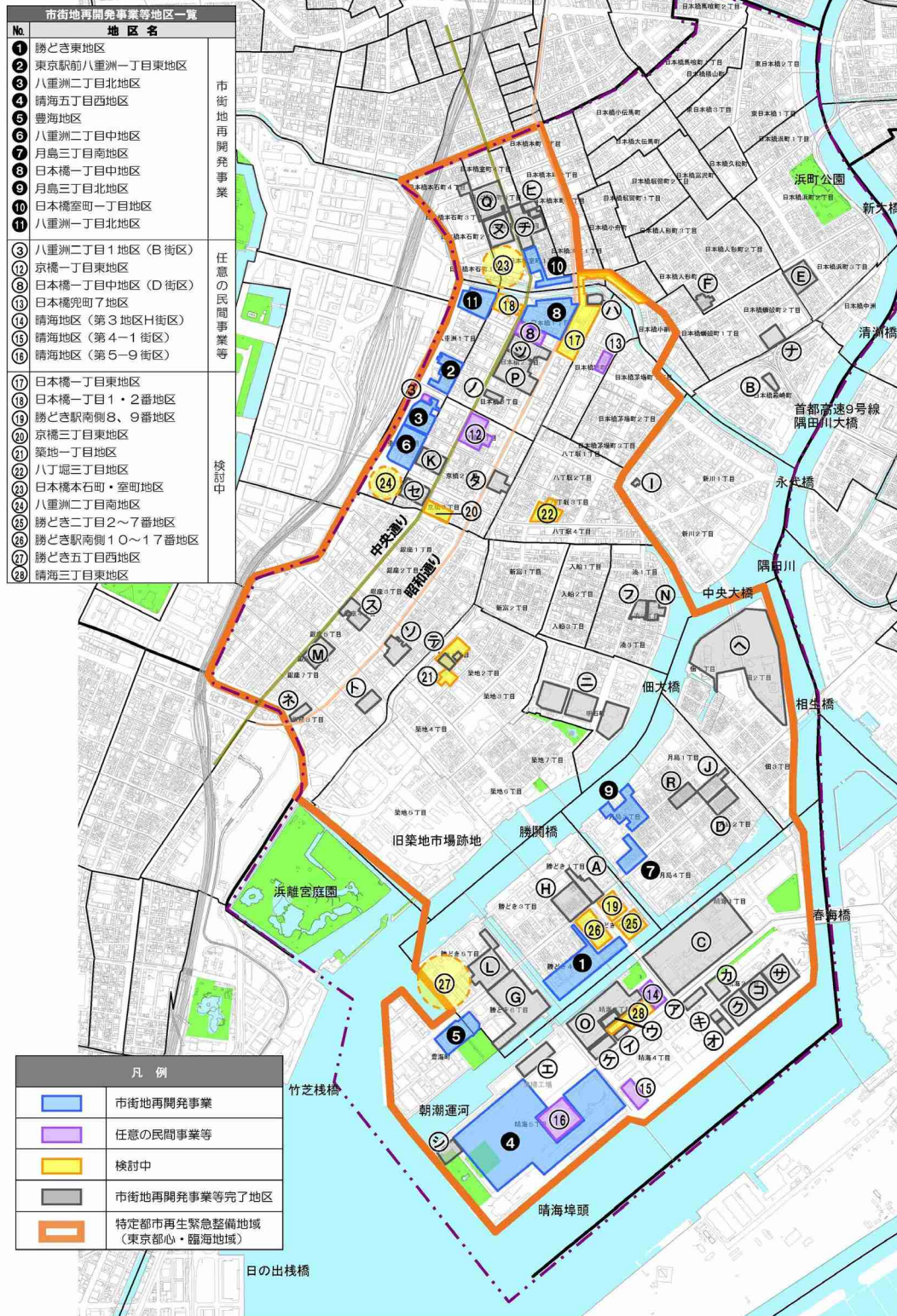
- 京橋、日本橋及び月島の各地域ではいずれも、引き続き人口が増加すると予想されています。
- 区内においては、市街地再開発事業等が多く計画されており、今後も人口の増加が予想されています。
- 特に、月島地域においては、勝どき・晴海を中心に人口増加が見込まれています。



資料：中央区将来人口の見通しについて（中央区）を基に作成
*令和2（2020）年は住民基本台帳による実績値
*令和7（2025）年以降は「中央区将来人口の見通しについて（中央区）」に基づく推計値
*本推計は、令和3年（2021）1月1日を基準日とした人口推計を基に、令和3（2021）年4月1日時点で修正を行ったものです。

図 5 地域別夜間人口の推移

令和3年度市街地再開発事業等地区（完了地区を含む）

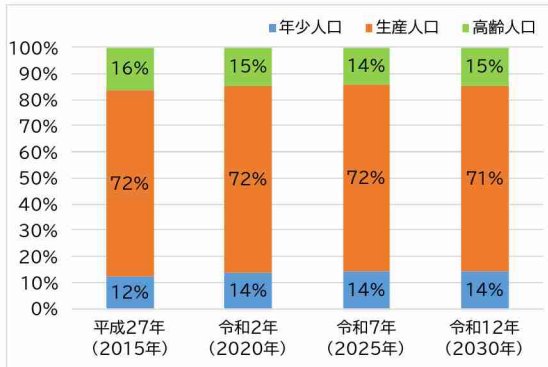


資料：市街地再開発事業等地区（中央区、令和3（2021）年）

図6 市街地再開発事業等地区

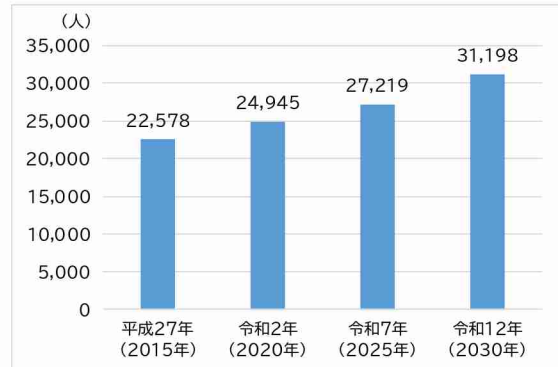
(3) 年齢別人口

- 中央区の高齢化率は、令和2(2020)年時点で15%であり、全国平均(28%)と比較して低くなっています。10年後の令和12(2030)年も同程度で推移することが予測されています。
- 高齢者の人口は平成27(2015)年の約2万3千人から15年後にはおよそ1.4倍の3万1千人を超えると予測されています。



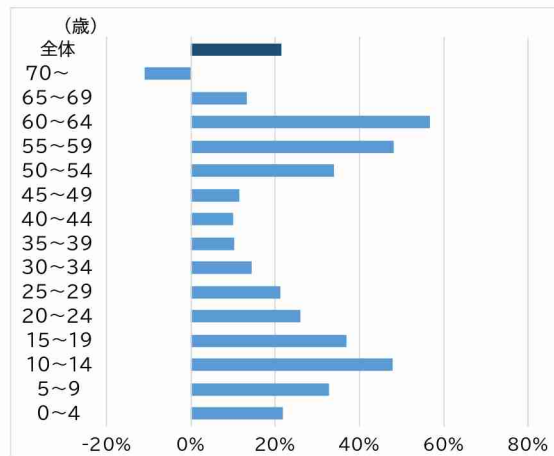
資料：中央区将来人口の見通しについて(中央区)を基に作成
 *令和2(2020)年までは住民基本台帳による実績値
 *令和7(2025)年以降は「中央区将来人口の見通しについて(中央区)」に基づく推計値
 *本推計は、令和3(2021)年1月1日を基準日とした人口推計を基に、令和3(2021)年4月1日時点で修正を行ったものです。

図7 中央区の年齢階層別人口割合の推移



資料：中央区将来人口の見通しについて(中央区)を基に作成
 *令和2(2020)年までは住民基本台帳による実績値
 *令和7(2025)年以降は「中央区将来人口の見通しについて(中央区)」に基づく推計値
 *本推計は、令和3(2021)年1月1日を基準日とした人口推計を基に、令和3(2021)年4月1日時点で修正を行ったものです。

図8 中央区の高齢者人口の推移



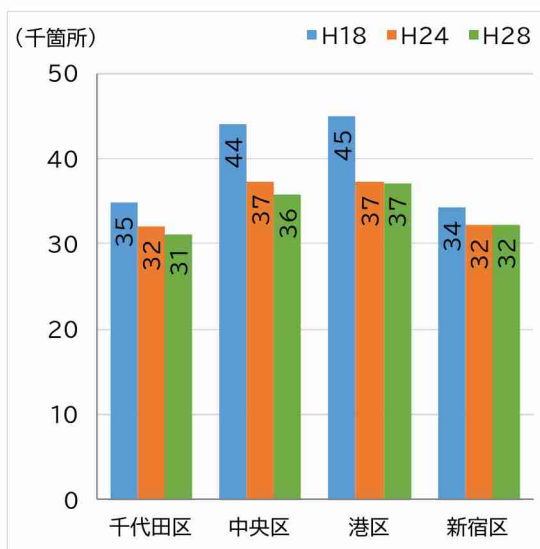
資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口(町丁別・年齢別)(東京都、令和3(2021)年1月)、住民基本台帳による東京都の世帯と人口(町丁別・年齢別)(東京都、平成27(2015)年1月)を基に作成

図9 中央区の年齢別人口の増減率(平成27(2015)年、令和3(2021)年)

2.1.3 産業

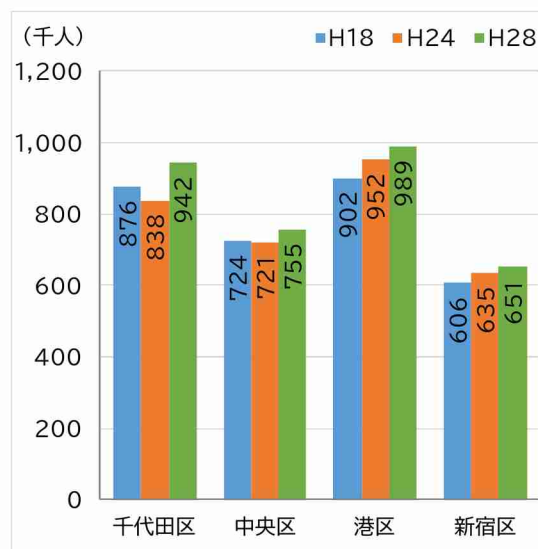
(1) 業務機能

- 区内の事業所数は、平成18(2006)年時点では約4万4千事業所でしたが、平成28(2016)年には、3万6千事業所と減少しています。
- 事業所数は減少傾向にありますが、従業員数は平成28(2016)年に約76万人であり、平成18(2006)年時点と比較すると増加しています。



資料：平成18年度事業所・企業統計調査（統計局、平成19（2007）年12月）、平成24年経済センサス活動調査（統計局、平成26（2014）年2月）、平成28年経済センサス活動調査（統計局、平成30（2018）年6月）を基に作成

図10 都心4区の実業所数の推移



資料：平成18年度事業所・企業統計調査（統計局、平成19（2007）年12月）、平成24年経済センサス活動調査（統計局、平成26（2014）年2月）、平成28年経済センサス活動調査（統計局、平成30（2018）年6月）を基に作成

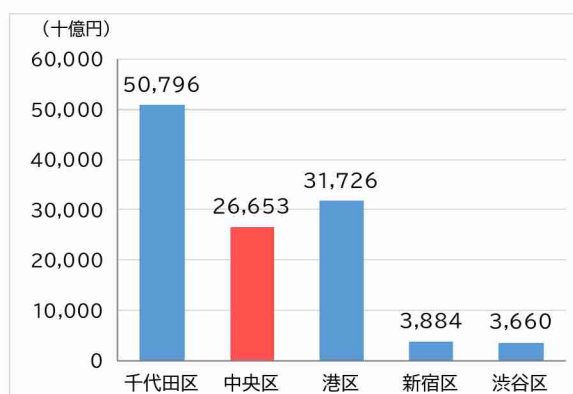
図11 都心4区の実業員数の推移

(2) 商業機能

- 商店街は中央区全体に分布し、特に日本橋、八重洲、銀座一帯に百貨店と娯楽業、飲食業が集中しています。
- 区内の小売業の年間商品販売額は都内第1位となっています。
(中央区の小売業の年間商品販売額:約1兆5千億円)
- 区内の卸売業の年間商品販売額は都内第3位となっています。
(中央区の卸売業の年間商品販売額:約27兆円)
- 都内の商業集積地区の年間商品販売額上位10位において、銀座が第1位、室町が第7位となっています。



資料：平成26年商業統計（経済産業省、平成27（2015）年12月）を基に作成



資料：平成26年商業統計（経済産業省、平成27（2015）年12月）を基に作成

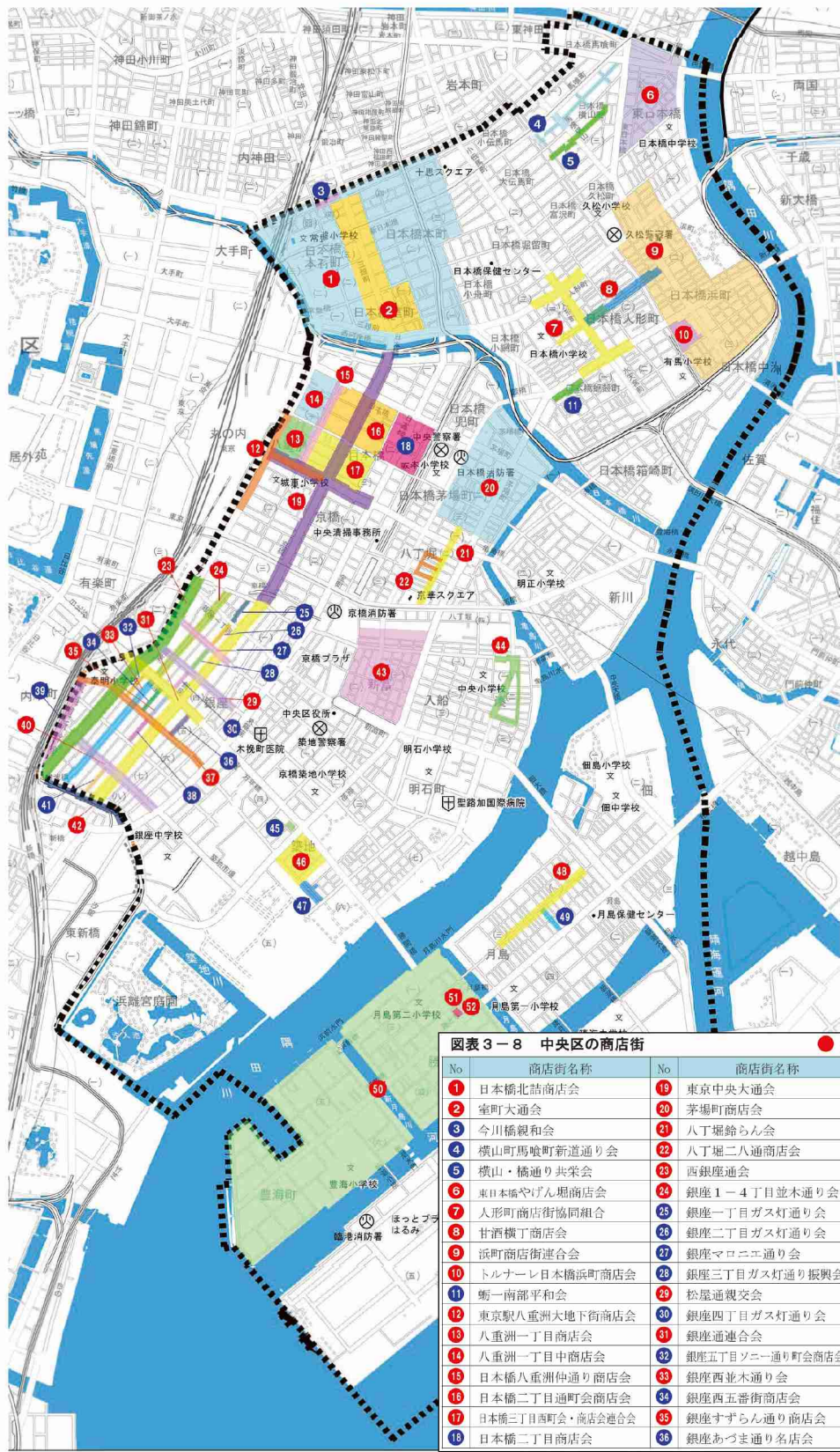
図12 都心5区の小売業の年間商品販売額
(平成26(2014)年)

図13 都心5区の卸売業の年間商品販売額
(平成26(2014)年)

表2 都内商業集積地区の年間商品販売額上位10位(都内)

順位	区市町村名	商業集積地区名	集積細分	年間商品販売額	事業所数	従業員数	売り場面積	大規模小売店舗数
1	中央区	銀座地域	12	537,919	614	9,680	174,307	196
2	豊島区	池袋駅東口	11	354,707	387	6,992	149,541	243
3	新宿区	新宿駅西口	11	349,681	355	6,241	132,202	258
4	新宿区	新宿3丁目	11	311,421	141	4,111	86,609	100
5	渋谷区	恵比寿1・2・4丁目周辺	13	198,789	20	775	1,005	-
6	渋谷区	渋谷公園通商店街	11	184,561	192	2,766	90,284	117
7	中央区	室町地域	12	169,938	84	2,033	65,063	46
8	豊島区	池袋駅西口	11	152,778	235	3,637	103,572	129
9	千代田区	東京駅商店街	11	120,762	200	2,365	57,323	40
10	千代田区	秋葉原	11	94,172	214	2,359	41,301	46

資料：平成26年商業統計（経済産業省、平成27（2015）年12月）を基に作成



図表 3-8 中央区の商店街

● 区商連加盟 ● 区商連非加盟

No	商店街名称	No	商店街名称	No	商店街名称
1	日本橋北詰商店会	19	東京中央大通会	37	銀座みゆき通り美化会
2	室町大通会	20	茅場町商店会	38	銀座六丁目すずらん通り会
3	今川橋親和会	21	八丁堀鈴らん会	39	銀座ロドリ通り会
4	横山町馬喰町新道通り会	22	八丁堀二八通商店会	40	銀座花椿通り会
5	横山・橋通り共栄会	23	西銀座通会	41	銀座金春通り会
6	東日本橋やげん堀商店会	24	銀座1-4丁目並木通り会	42	銀座イン出店者会
7	人形町商店街協同組合	25	銀座一丁目ガス灯通り会	43	新富商業会
8	甘酒横丁商店会	26	銀座二丁目ガス灯通り会	44	湊連合商業会
9	浜町商店街連合会	27	銀座マロニエ通り会	45	築地共栄商業協同組合
10	トルナール日本橋浜町商店会	28	銀座三丁目ガス灯通り振興会	46	築地場外市場商店街振興組合
11	蛸一南部平和会	29	松屋通親交会	47	築地海幸会
12	東京駅八重洲大地下街商店会	30	銀座四丁目ガス灯通り会	48	月島西仲共栄会商店街振興組合
13	八重洲一丁目商店会	31	銀座通連合会	49	月島中央会
14	八重洲一丁目中商店会	32	銀座五丁目ソニー通り町会商店会	50	勝どき商業会
15	日本橋八重洲仲通り商店会	33	銀座西並木通り会	51	月島誠栄商業協同組合
16	日本橋二丁目通町会商店会	34	銀座西五番街商店会	52	勝どきサンクスストア商店会
17	日本橋三丁目町会・商店会連合会	35	銀座すずらん通り商店会		
18	日本橋二丁目商店会	36	銀座あづま通り名店会		

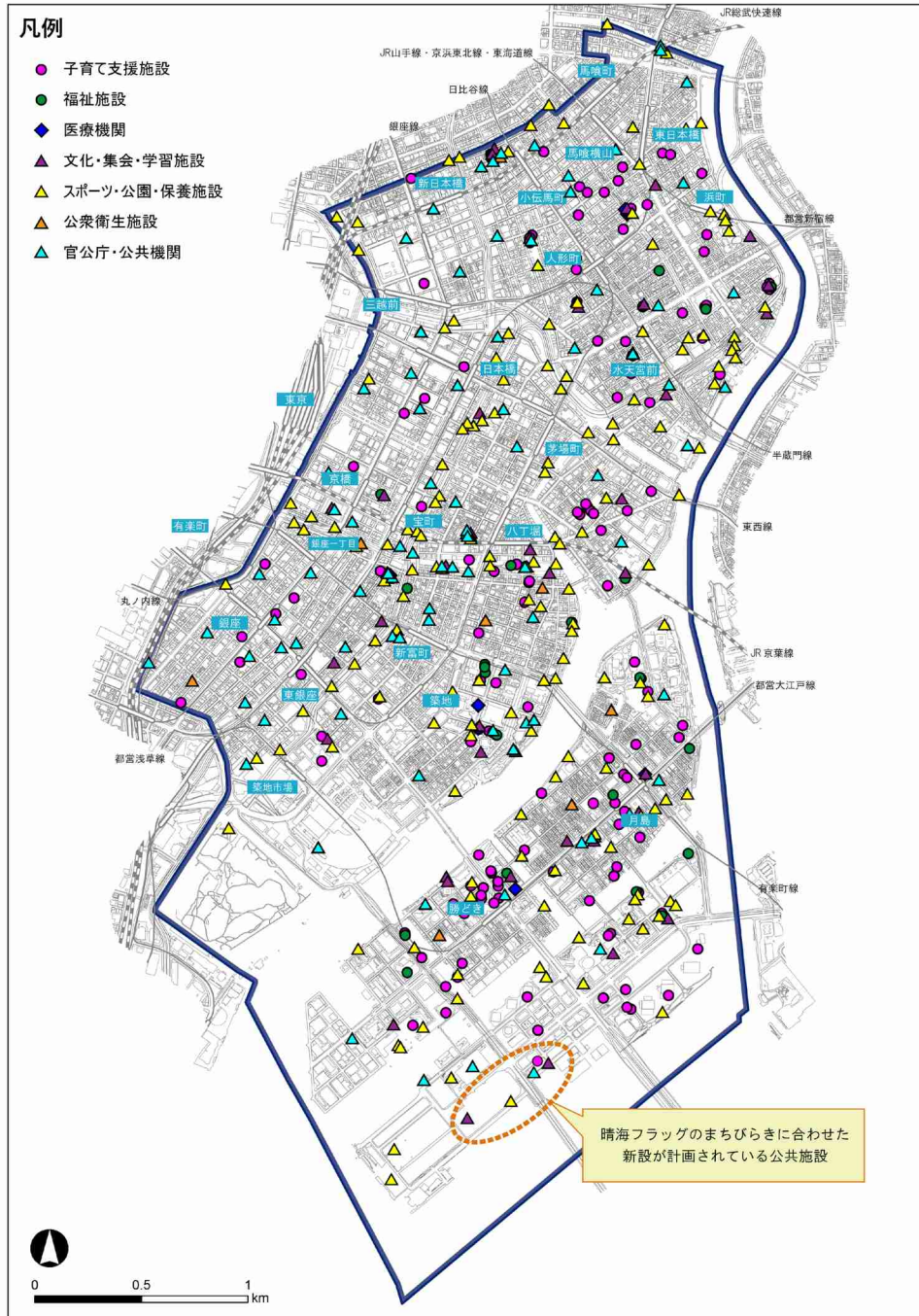
資料：中央区商店街振興プラン 2016（中央区、平成 28（2016）年）

図 14 中央区内の商店街分布

2.1.4 施設分布

(1) 公共施設分布図

- 公共施設は区内全域に分布しています。
- 京橋地域には官公庁・公共機関が多く分布していますが、子育て支援施設はあまり多くありません。
- 一方、月島地域には、これらの施設が多く分布しており、対照的な分布傾向となっています。
- 晴海には、晴海フラッグのまちびらきに合わせた公共施設の新設が計画されています。

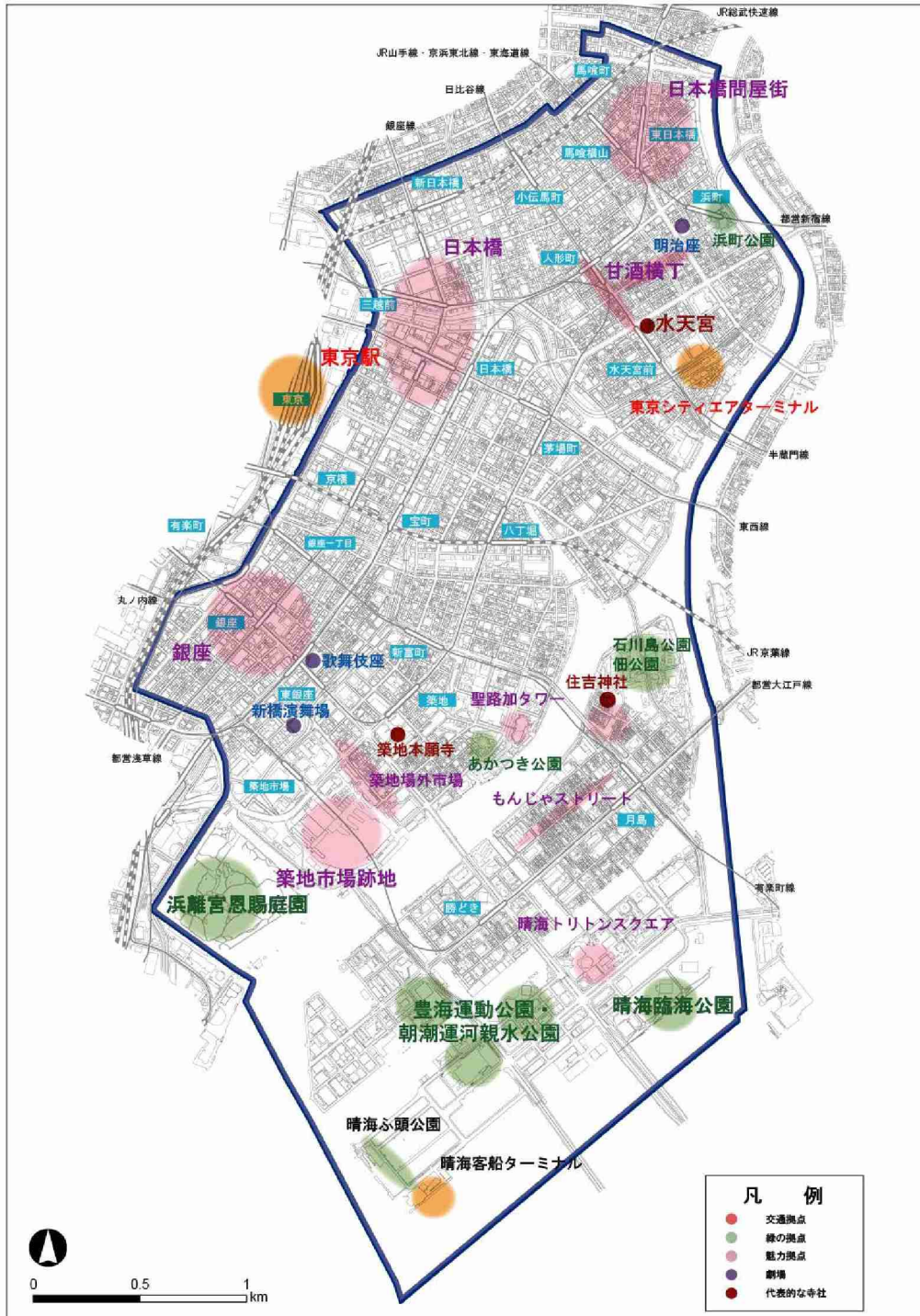


資料：ちゅうおうナビ（中央区）（令和4（2022）年2月時点）、国土地理院基盤地図情報を基に作成

図 15 中央区内の施設分布図

(2) 観光施設、文化施設の分布

- 銀座、日本橋、築地場外市場、日本橋問屋街、浜離宮恩賜庭園、もんじゃストリート、晴海トリトンスクエア等の観光施設が分布しています。
- 歌舞伎座や明治座、新橋演舞場など伝統ある劇場をはじめ、映画館や美術館などの文化施設が集積しています。また、史跡・旧跡や歴史的建造物などの文化遺産も多数存在しています。
- 浜離宮恩賜庭園などのほか区内の主要公園を緑の拠点として位置付けています。



資料：ちゅうおうナビ（中央区）（令和4（2022）年2月時点）、国土地理院基盤地図情報を基に作成

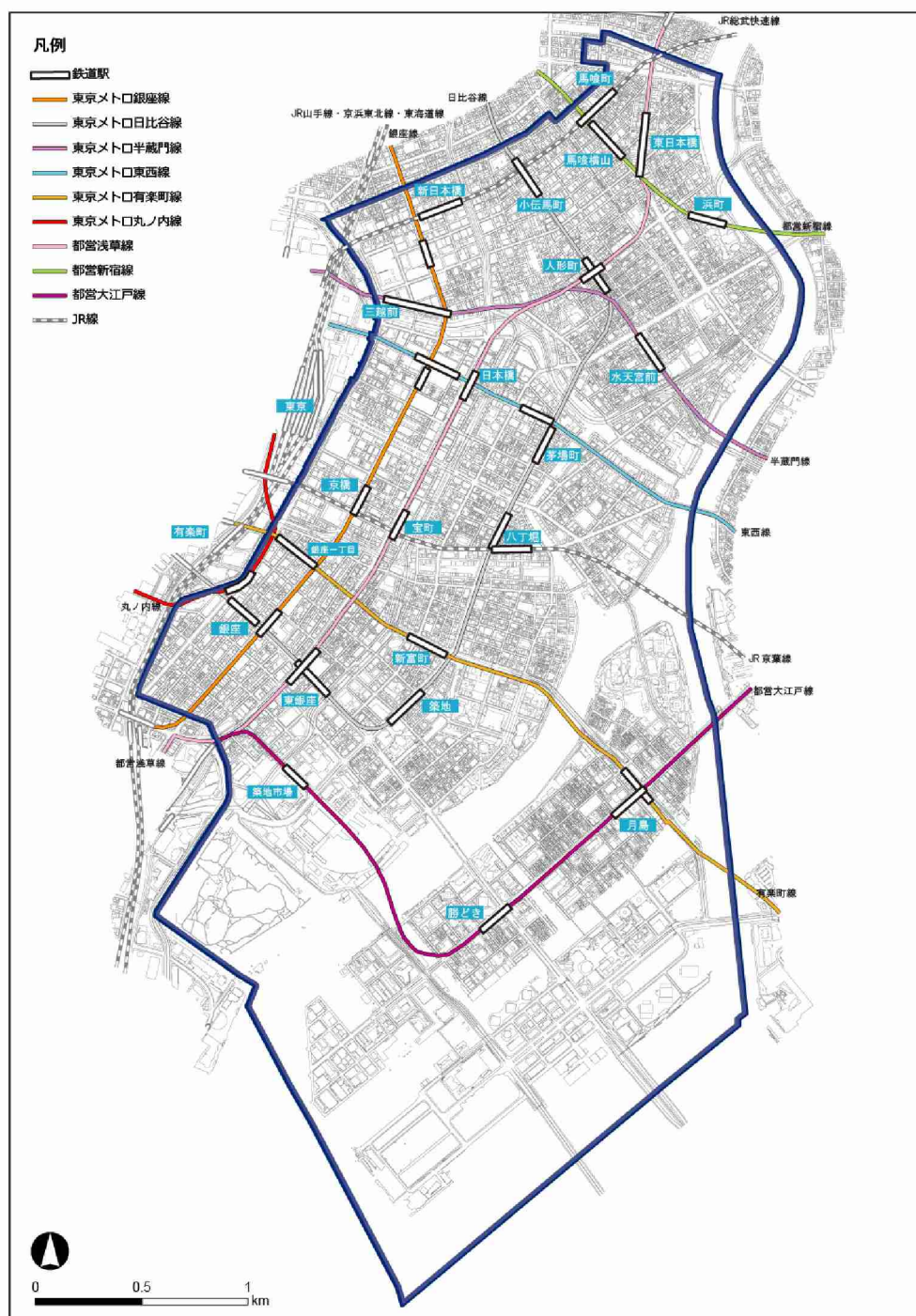
図 16 中央区内の観光施設・地域分布

2.2 区内の交通

2.2.1 鉄道

(1) 路線網

- 鉄道はJR東日本、東京地下鉄、都営地下鉄の3事業者11路線(28駅)が運行しています。
- 区内全域を網の目のように運行していますが、晴海や豊海町などには鉄道の路線網はありません。

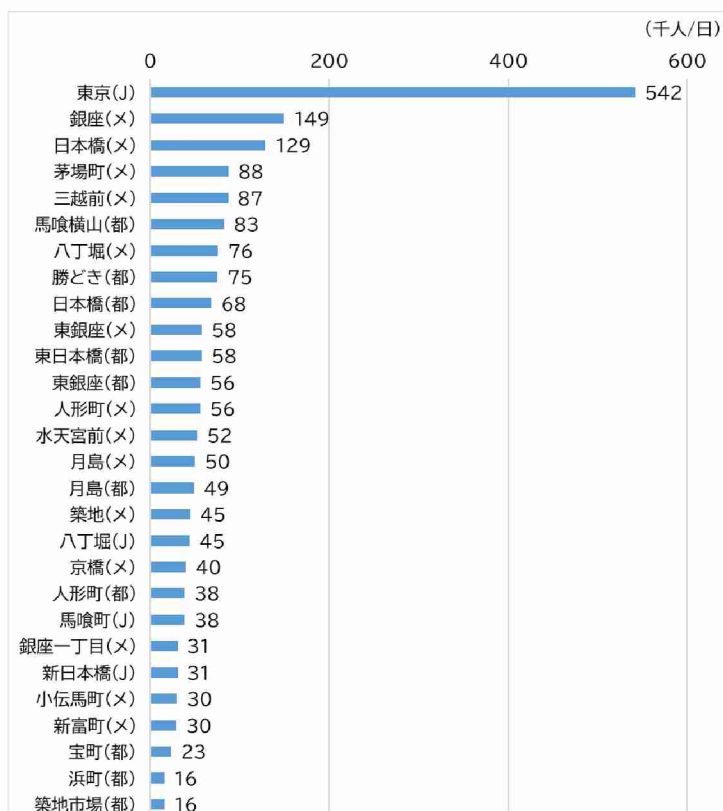


資料：国土数値情報 鉄道データ（国土交通省、令和2（2020）年12月）、国土地理院基盤地図情報を基に作成

図 17 中央区内の鉄道路線と鉄道駅

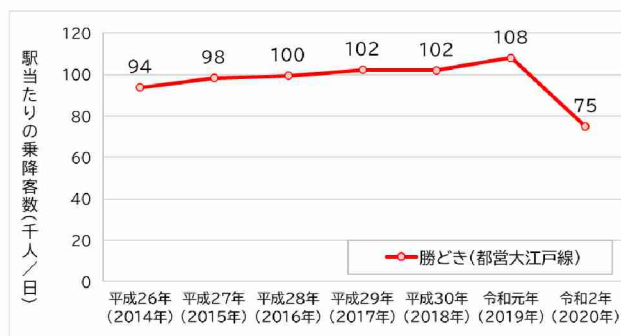
(2) 乗降客数

- 駅別の一日当たりの乗降客数は、東京駅(54万2千人)が最も多く、次に銀座駅(14万9千人)、日本橋駅(12万9千人)が多くなっています。
- 一駅当たりの乗降客数は、令和元(2019)年までは概ね増加傾向にあり、特に月島地域の勝どき駅の乗降客数は大きく増加しています。一方、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、令和2(2020)年の乗降客数は減少しています。



資料：駅別乗降人員順位表（2020年度一日平均）（東京メトロ）、各駅の乗車人員 2020年度（JR東日本）
各駅乗降人員一覧（2020年4月～2021年3月）（東京都交通局）を基に作成

図 18 鉄道駅の一利用者数



資料：各駅乗降人員一覧（2020年4月～2021年3月）（東京都交通局）を基に作成

図 19 勝どき駅の乗降客数

(4) バリアフリー化状況

- 区内の鉄道駅は、東京駅を除き全て地下駅となっているため、バリアフリー経路の確保は重要です。
- 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」が平成18(2006)年に施行され、各鉄道事業者によるエレベーター等の整備が進められています。令和4(2022)年1月現在、28駅中26駅において地上からホームまでのバリアフリー動線がエレベーターにより確保されています。
- ホームドアの設置については、令和4(2022)年1月現在、区内の鉄道駅28駅中11駅において完了しています。

表 3 区内各駅のバリアフリー化状況

鉄道事業者名	駅名		路線名	バリアフリー経路※1	ホームドア設置状況※2
東京地下鉄	1	三越前	銀座線 半蔵門線	◎	○ ○
	2	日本橋	銀座線	◎	○
	3	京橋	東西線 銀座線	◎	○ ○
	4	銀座	銀座線 丸ノ内線 日比谷線	◎	○ ○ ×
	5	小伝馬町	日比谷線	◎	×
	6	人形町	日比谷線	◎	×
	7	茅場町	日比谷線 東西線	◎	×
	8	八丁堀	日比谷線	○	×
	9	築地	日比谷線	◎	×
	10	東銀座	日比谷線	◎	×
	11	銀座一丁目	有楽町線	○	○
	12	新富町	有楽町線	◎	○
	13	月島	有楽町線	◎	○
	14	水天宮前	半蔵門線	◎	×
都営地下鉄	15	東銀座	浅草線	◎	×
	16	宝町	浅草線	◎	×
	17	日本橋	浅草線	◎	×
	18	人形町	浅草線	◎	×
	19	東日本橋	浅草線	◎	×
	20	馬喰横山	新宿線	◎	○
	21	浜町	新宿線	◎	○
	22	築地市場	大江戸線	◎	○
	23	勝どき	大江戸線	◎	○
	24	月島	大江戸線	◎	○
JR東日本	25	東京	各線	◎	×
	26	新日本橋	総武線	◎	×
	27	馬喰町	総武線	◎	×
	28	八丁堀	京葉線	◎	×

※1 バリアフリー経路（ホーム～地上間における垂直移動施設を用いた移動経路）の確保について

◎：エレベーターにより確保 ○：エレベーター及び階段昇降機により確保

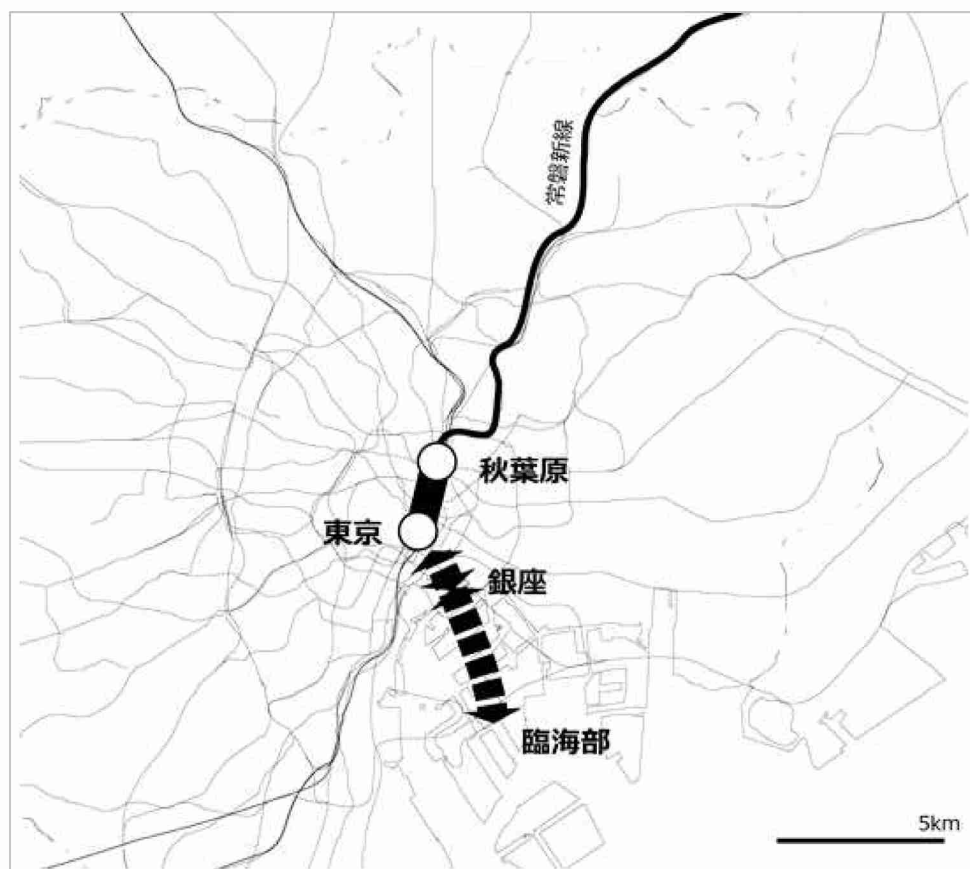
※2 ホームドア設置状況について

○：設置済み ×：未設置

資料：鉄道駅におけるエレベーター等設置状況調査票 2022年1月現在（中央区、令和4（2022）年1月）

(5) 構想路線

- 平成28(2016)年4月の交通政策審議会答申で都心部・臨海地域地下鉄構想の新設及び同構想と常磐新線(つくばエクスプレス)延伸の一体整備が位置付けられています。
- 国際競争力強化の拠点である都心と臨海副都心とのアクセス利便性の向上や山手線等の混雑の緩和が期待されています。



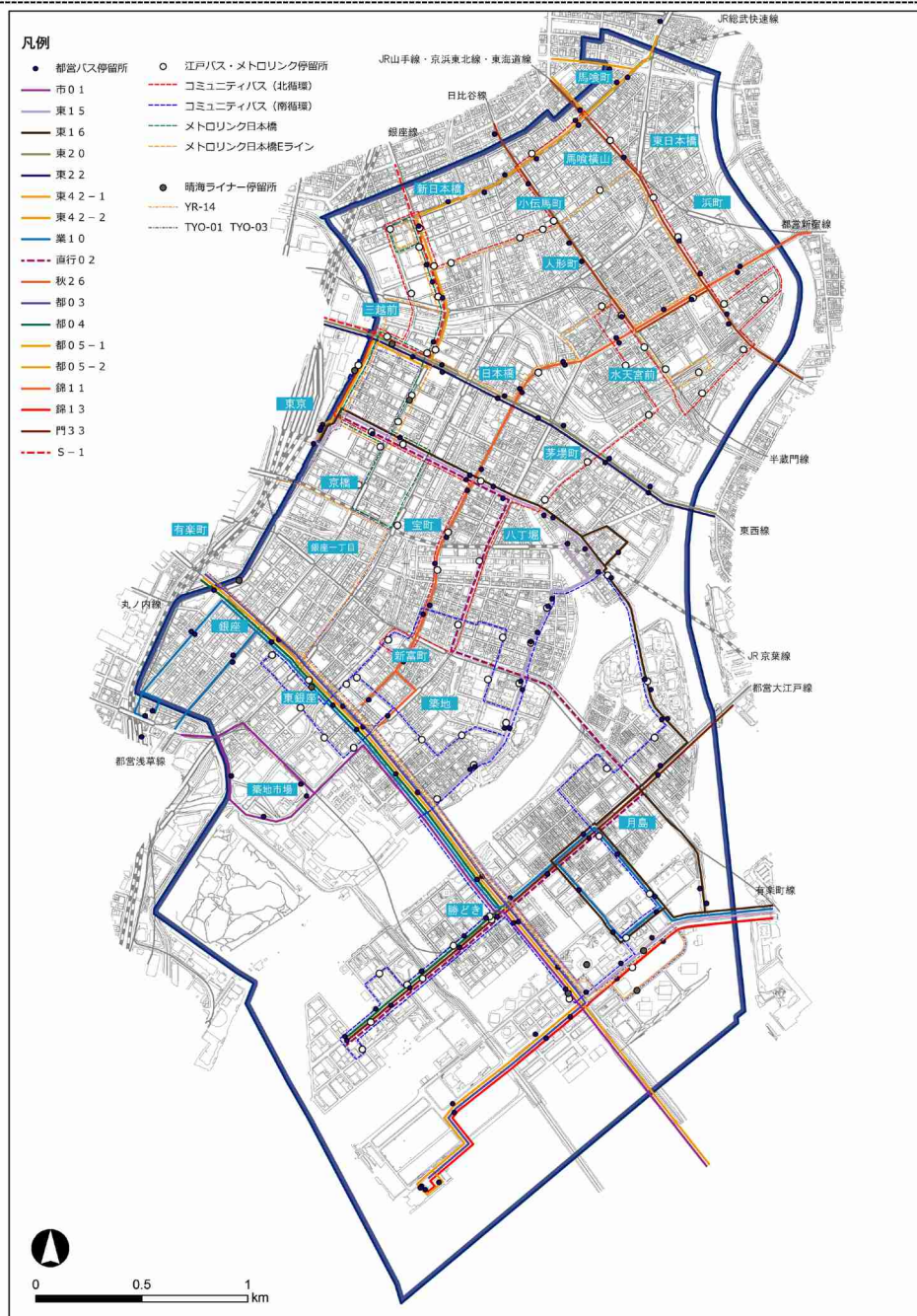
資料：東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（答申）（交通政策審議会、平成28（2016）年4月）

図 21 地下鉄構想路線

2.2.2 バス

(1) 路線網

○ バス交通は、都営バス(18系統)のほか、コミュニティバス(江戸バス北循環・南循環)やメトロリンク日本橋及びメトロリンク日本橋Eライン、晴海ライナーが運行しています。



資料：都営バス) 都バス路線案内 みんなのガイド (東京都交通局) 令和4 (2022) 年2月時点) を基に作成
江戸バス) 江戸バスマップ (桜だより編) (中央区) (令和3 (2021) 年1月時点) を基に作成
メトロリンク) HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋 運行ルート (日の丸リムジングループ)
(令和4 (2022) 年2月時点)、メトロリンク日本橋Eライン 運行ルート (日の丸リムジングループ) (令
和4 (2022) 年2月時点) を基に作成
晴海ライナー) 晴海ライナーリアルタイム位置情報 (日立自動車交通株式会社) (令和4 (2022) 年2月時点)
を基に作成
国土地理院基盤地図情報) を基に作成

図 22 中央区内のバス路線

(2) 運行状況

- 都営バスの運行本数は、東西方向の晴海通りと八重洲通り、清澄通りが多くなっています。特に、晴海通りの運行本数が多く、ピーク時の東京、新橋方面は概ね1分 20秒間隔(8時台に 51本/時)で運行されています。
- 区が運行するコミュニティバス(江戸バス)は、北循環と南循環の2路線で、20分間隔で運行されています。
- 日の丸リムジンが運行する八重洲、京橋、日本橋を結ぶ、無料巡回バス「メトロリンク日本橋」は約10分間隔、浜町・人形町・兜町エリアを結ぶ無料巡回バス「メトロリンク日本橋Eライン」は約22分間隔で運行されています。
- 日立自動車交通が運行する晴海ライナーは晴海と有楽町を結び、概ね15分から30分間隔で運行されています。

表 4 中央区内各路線バスの系統、起終点及び運行本数

名称	系統	起点	主な経由地	終点	起 点 → 終 点			
					平日	土曜	休日	平日 ピーク時 (8時台)
都バス	市01	新橋駅前	勝どき駅前	豊洲市場 市場前駅	42	37	0	5
	S-1	東京駅丸の内北口 上野松坂屋前	浅草雷門	錦糸町駅前	0	4	4	0
	直行02	豊海水産埠頭	月島三丁目・亀島橋	東京駅八重洲口	4	0	0	2
	都03	晴海埠頭	銀座四丁目	四谷駅	23	15	14	2
	都04	豊海水産埠頭	銀座四丁目	東京駅丸の内南口	126	109	97	13
	都05-1	晴海埠頭	銀座四丁目	東京駅丸の内南口	116	101	97	12
	都05-2	東京ビッグサイト	銀座四丁目	東京駅丸の内南口	57	54	52	7
	業10	新橋	豊洲駅前・木場駅前・菊川駅前	とうきょうスカイツリー駅前	69	61	54	5
			豊洲駅前	深川車庫前	35	25	22	4
	錦11	亀戸駅前 錦糸町駅前	新大橋	築地駅前	17	14	10	2
					30	27	27	3
	錦13	錦糸町駅前	東陽三丁目	晴海埠頭	50	49	34	5
	東15	深川車庫前	東雲都橋	東京駅八重洲口	45	40	36	3
	東16	東京駅八重洲口	八丁堀	住友ツインビル前	4	0	0	1
			月島駅前	豊洲駅前	12	0	0	4
				深川車庫前	48	16	15	8
				有明一丁目	6	4	5	0
				東京ビッグサイト	59	61	57	4
				錦糸町駅前	15	16	18	0
	東20	東京駅丸の内北口	東京都現代美術館	錦糸町駅前	15	16	18	0
東22	錦糸町駅前	東陽町駅前	東京駅丸の内北口	55	44	33	4	
東42-1	南千住駅西口 南千住車庫前	浅草橋	東京駅八重洲口	25	21	10	4	
				12	21	28	0	
東42-2	南千住駅西口 南千住車庫前	浅草橋	東神田	34	17	11	7	
				35	26	22	0	
秋26	葛西駅前	浜町中の橋	秋葉原駅前	50	39	41	5	
門33	亀戸駅前	清澄白河駅前	豊海水産埠頭	69	55	43	5	
江戸バス	北循環	中央区役所	八丁堀・東京駅・小伝馬町・浜町・新川(循環)	中央区役所	36	36	33	3
	南循環	中央区役所	明石町・佃・晴海・豊海・勝どき・新富(循環)	中央区役所	36	36	33	3
日の丸 リムジン	メトロリンク 日本橋	東京駅八重洲口	JR新日本橋駅・地下鉄宝町駅	東京駅八重洲口	60	60	60	0
	メトロリンク 日本橋Eライン	東京駅八重洲口	富沢町・地下鉄水天宫前駅・日本橋2丁目	東京駅八重洲口	27	27	27	3
晴海 ライナー	YR-14	晴海トリトンスクエア	東銀座駅・有楽町駅	晴海トリトンスクエア	11	0	0	1
	TYO-01, TYO-03	晴海トリトンスクエア	東銀座駅・有楽町駅	晴海トリトンスクエア 晴海二丁目	1 33	5 22	5 22	1 2

資料：都営バス) 都バス運行情報サービス 時刻表を見る (東京都交通局) (令和4 (2022) 年2月時点) を基に作成

江戸バス) 江戸バス時刻表 (北循環) H24. 7. 14 改訂 (中央区)

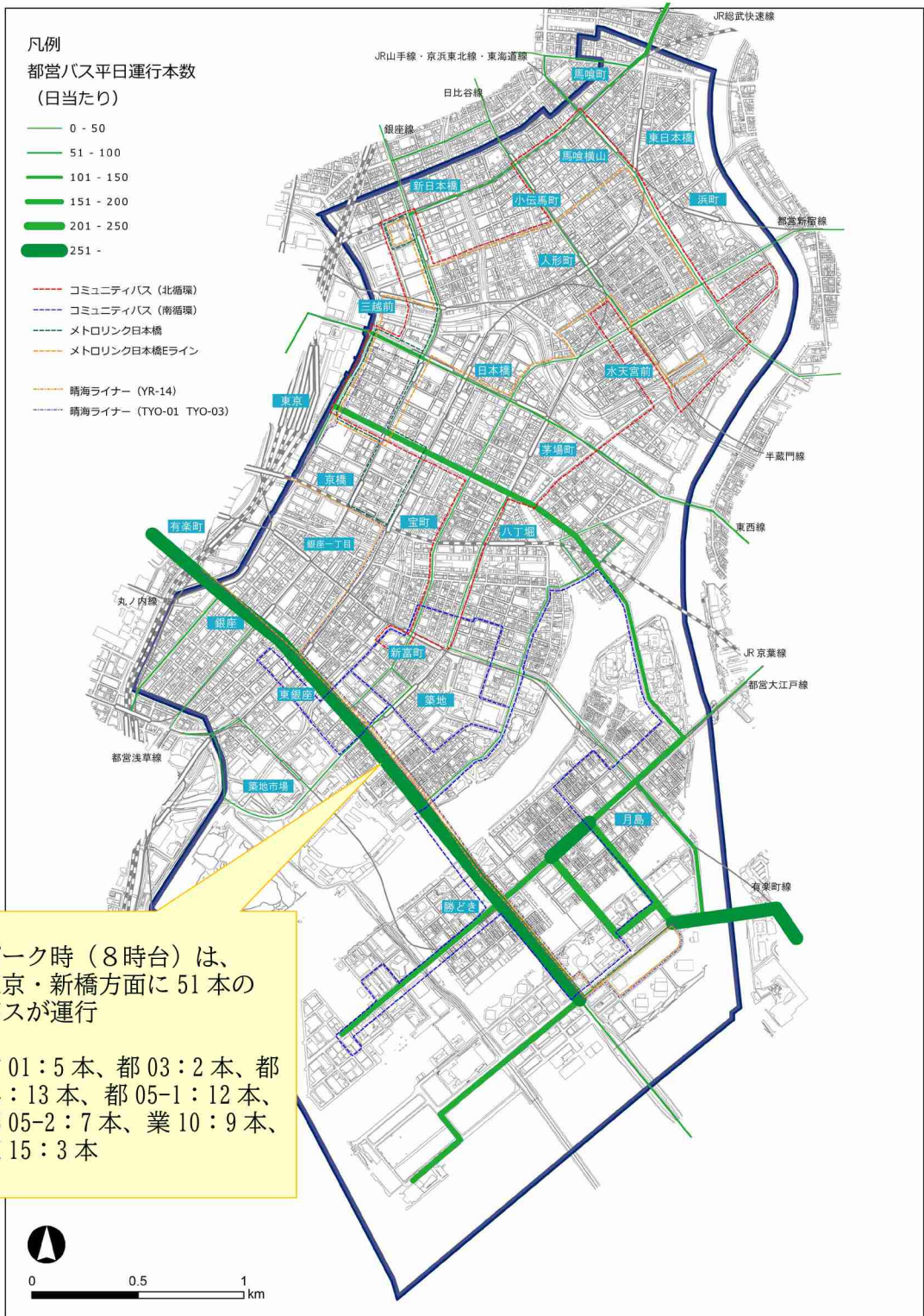
江戸バス時刻表 (南循環) H24. 7. 14 改訂 (中央区) を基に作成

メトロリンク) HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋 運行時間 (日の丸リムジングループ) (令和

4 (2022) 年2月時点)、HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バスメトロリンク日本橋 E ライン 運行時間

(日の丸リムジングループ) (令和4 (2022) 年2月時点) を基に作成

晴海ライナー) 晴海ライナー停留所別時刻表 (日立自動車交通株式会社) (令和4 (2022) 年2月時点) を基に作成



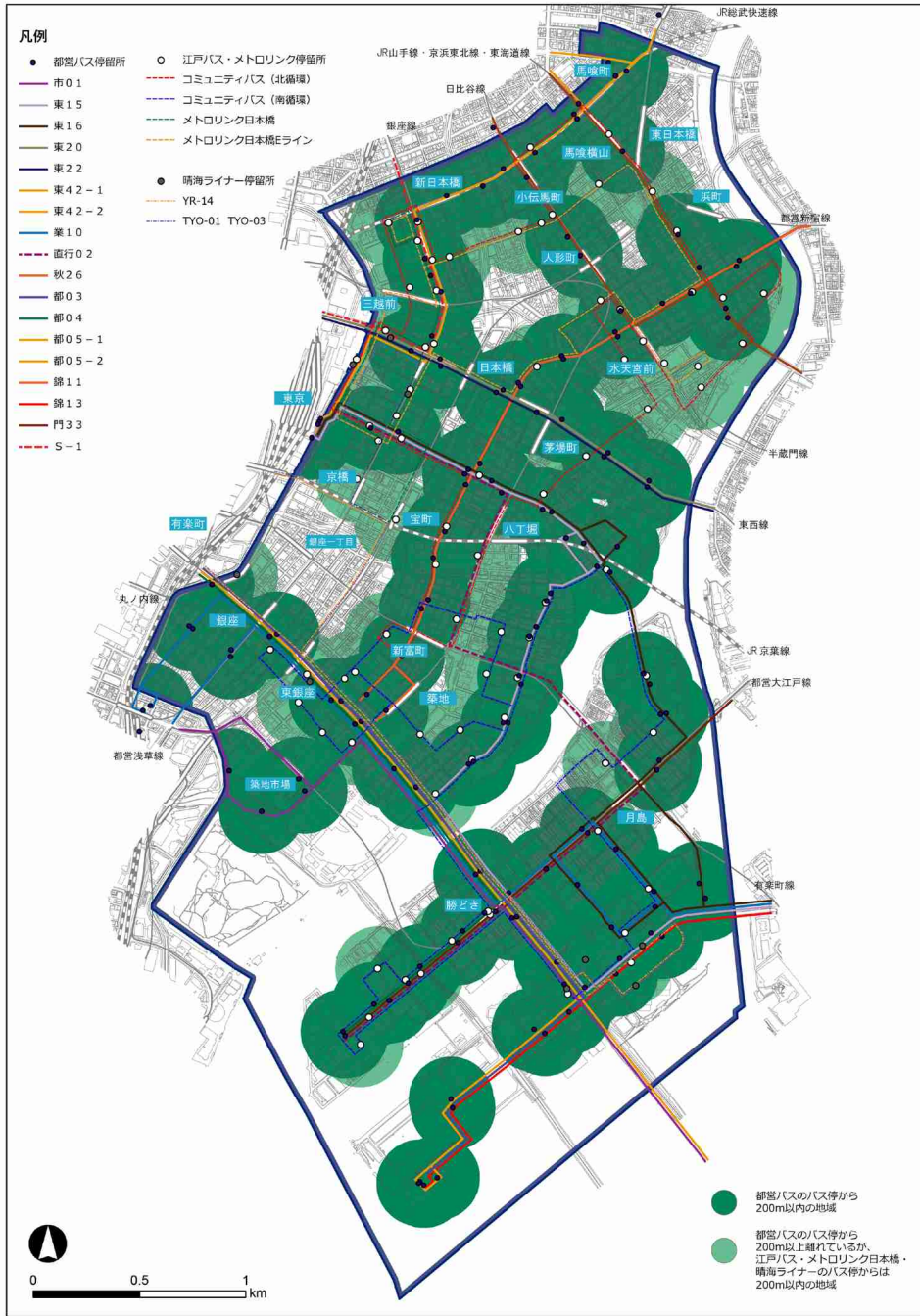
ピーク時 (8時台) は、
 東京・新橋方面に 51 本の
 バスが運行

市 01 : 5 本、都 03 : 2 本、都
 04 : 13 本、都 05-1 : 12 本、
 都 05-2 : 7 本、業 10 : 9 本、
 東 15 : 3 本

図 23 中央区内バスの運行本数 (平日)

(3) 圏域

○ バスの圏域を200mとした場合、京橋二丁目から銀座二丁目にかけて、日本橋本町や日本橋室町の一部、月島一丁目や晴海の一部などに圏域外となる地域があります。



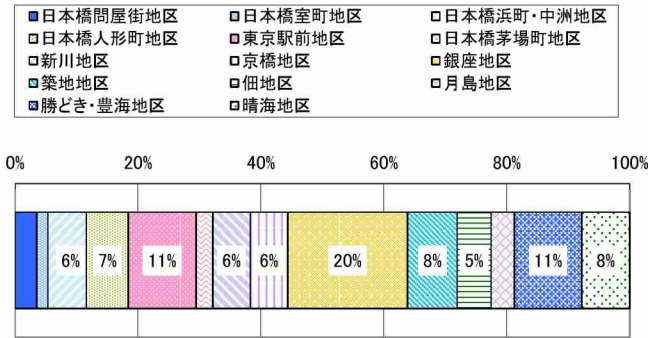
資料：都営バス）都バス路線案内 みんなのガイド（東京都交通局）令和4（2022）年2月時点）を基に作成
 江戸バス）江戸バスマップ（桜だより編）（中央区）（令和3（2021）年1月時点）を基に作成
 メトロリンク）HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋 運行ルート（日の丸リムジングループ）
 （令和4（2022）年2月時点）、メトロリンク日本橋Eライン 運行ルート（日の丸リムジングループ）（令
 和4（2022）年2月時点）を基に作成
 晴海ライナー）晴海ライナーリアルタイム位置情報（日立自動車交通株式会社）（令和4（2022）年2月時点）
 を基に作成
 国土地理院基盤地図情報）を基に作成

図 24 バス停 200m圏域

(4) コミュニティバスの運行ルートに対する要望（参考）

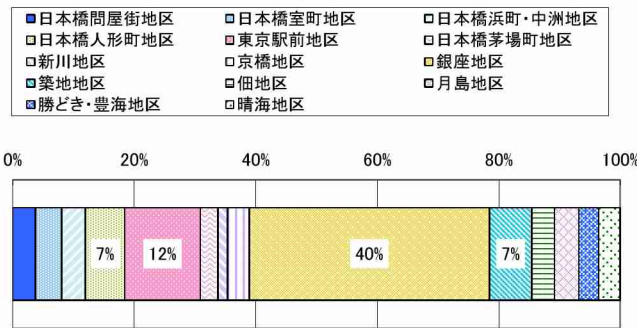
- 令和3(2021)年に実施した江戸バスの利用者アンケートによると、「運行ルート」に対する自由意見が最も多くなっています。
- 運行ルートについて、運行してほしい地区への回答を見ると、乗車を希望する地区は「銀座地区」の回答が最も多く、次いで「勝どき・豊海地区」や「東京駅前地区」が続いています。
- 降車を希望する地区は「銀座地区」との回答が40%と多くを占めています。

問6 運行してほしい地区(乗車)



地区	回答数(人)	シェア
日本橋問屋街地区	23	4%
日本橋室町地区	12	2%
日本橋浜町・中洲地区	41	6%
日本橋人形町地区	45	7%
東京駅前地区	72	11%
日本橋茅場町地区	18	3%
新川地区	40	6%
京橋地区	40	6%
銀座地区	128	20%
築地地区	53	8%
佃地区	36	5%
月島地区	25	4%
勝どき・豊海地区	72	11%
晴海地区	51	8%
合計	656	100%

問6 運行してほしい地区(降車)



地区	回答数(人)	シェア
日本橋問屋街地区	24	4%
日本橋室町地区	28	4%
日本橋浜町・中洲地区	25	4%
日本橋人形町地区	42	7%
東京駅前地区	80	12%
日本橋茅場町地区	19	3%
新川地区	10	2%
京橋地区	23	4%
銀座地区	255	40%
築地地区	45	7%
佃地区	24	4%
月島地区	26	4%
勝どき・豊海地区	21	3%
晴海地区	23	4%
合計	645	100%

資料：コミュニティバスの運行ルートに関するアンケート結果（中央区、令和3（2021）年）

図 25 コミュニティバスを新たに運行してほしい地区

(5) BRTの運行ルート

- BRT(Bus Rapid Transit)とは、連節バスの採用、走行空間の整備等により、従来のバス交通に比べて高い輸送力・定時性・速達性の確保を可能にした、バスをベースとする交通システムを指します。
- 開発による人口の増加が見込まれる臨海地域と都心とを結ぶため、令和2(2020)年10月からプレ運行(一次)が開始され、今後、プレ運行(二次)が開始される予定です。さらに、環状第2号線本線トンネル開通や晴海五丁目西地区(選手村)まちびらき等を踏まえ、本格運行の開始が予定されています。



資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京 BRT について（東京都都市整備局ホームページ）

図 26 東京 BRT 車両のイメージ

表 5 東京 BRT 運行ルート

2020年度	2021年度	2022年度以降
BRTプレ運行（地上部道路）※		BRT本格運行（本線トンネル）
プレ運行（一次）（1系統） 環状第2号線 地上部道路開通（2019年度末）後 東京2020大会前・期間中	プレ運行（二次）（3系統） 東京2020大会後	本格運行（4系統） 環状第2号線 本線トンネル開通（2022年度）後 選手村まちびらき後
<p>一次運行ルート（虎ノ門～晴海二丁目） 幹線ルート（虎ノ門～東京駅～国際展示場駅・東京テレポート駅） 晴海・豊洲ルート（虎ノ門～市場前駅） 勝どきルート（新橋駅～勝どき） 選手村ルート（新橋駅～晴海五丁目） 検討路線</p>	<p>晴海二丁目～市場前駅は市場前駅付近に整備される交通広場の完成の後に延伸予定</p>	
京成バス(株)による運行	京成バス(株)と新会社の共同運行	新会社による運行

※BRTプレ運行…将来的なBRT本格運行への円滑な転換を図るとともに、臨海地域の需要増に対応するため、環状第2号線本線トンネル開通前から行う先行的な運行

資料：東京 BRT の運行ルート（東京都）

表 6 新橋～勝どき BRT 間の運行便数と輸送力（片道）（プレ運行（一次））

	平日ピーク時 （1時間当たり）	平日日中及び土休日 （1時間当たり）
片道運行基本便数※	6便程度	4便程度
輸送力	450人程度	300人程度

資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京 BRT について（東京都都市整備局ホームページ）

表 7 新橋～勝どき BRT 間の運行便数と輸送力（片道）（本格運行時）

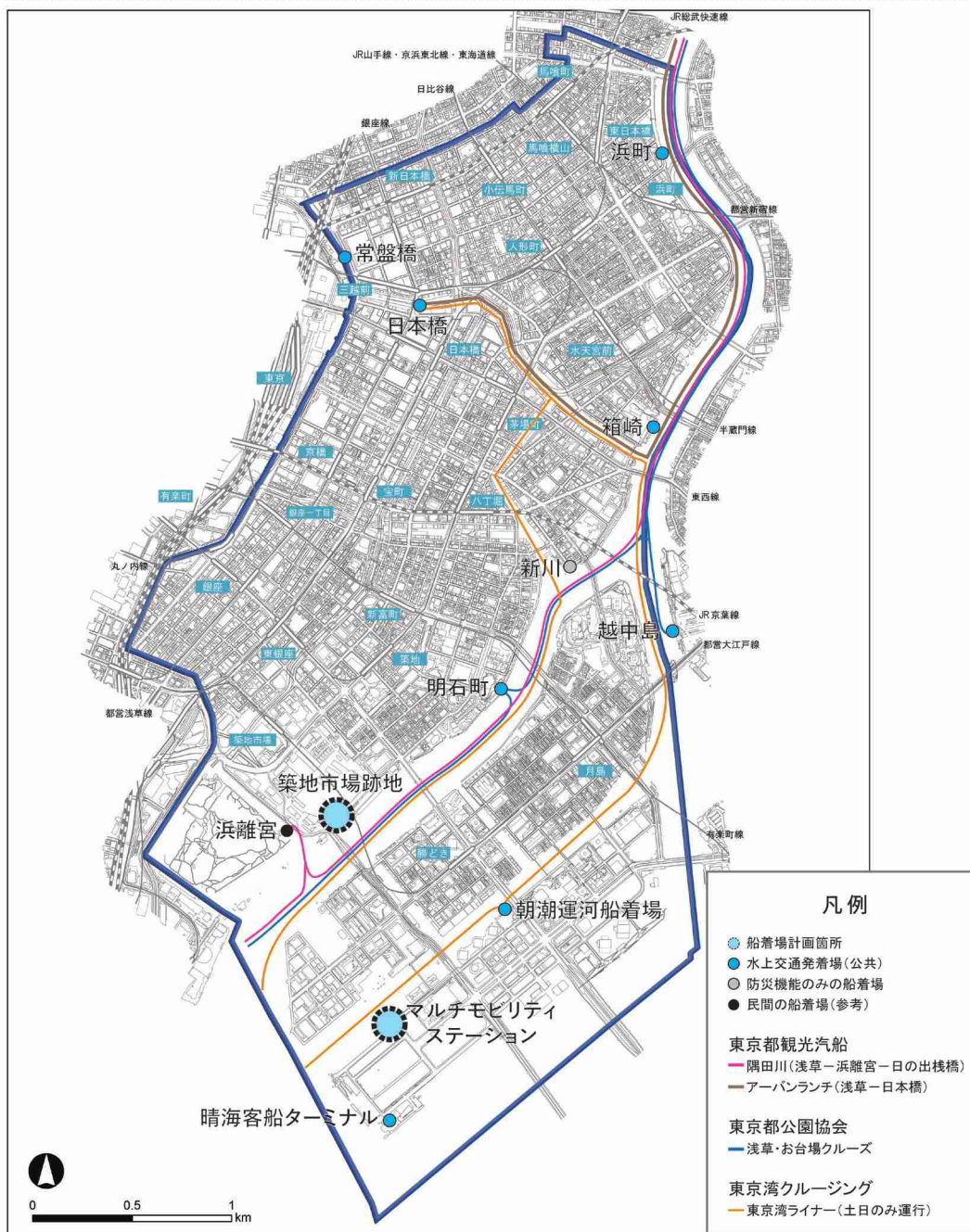
	平日ピーク時 （1時間当たり）	平日日中及び土休日 （1時間当たり）
片道運行基本便数※	20便程度 内訳（予定） 幹線ルート6便 晴海・豊洲ルート6便 勝どきルート2便 選手村ルート6便	12便程度 内訳（予定） 幹線ルート6便 晴海・豊洲ルート6便
輸送力	2,000人程度	1,200人程度

※（東京都）交通状況や需要等を考慮しながら適切な運行頻度・便数を検討します。
また、一部区間を運行する便や、途中停留施設を通過する急行便の運行を検討します。

資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京 BRT について（東京都都市整備局ホームページ）

2.2.4 水上交通

- 隅田川及び日本橋川等を活かした水上交通として「観光船」が運航されています。(区内の乗降場所は、浜町、明石町、浜離宮、日本橋、朝潮運河)
- 観光船の定期運航は陸上公共交通と比べて少ない状況となっています。
- 晴海に整備が予定されているマルチモビリティステーションや、築地市場跡地の開発で新たな船着場が計画されています。また、勝どき東地区再開発事業では朝潮運河船着場の再整備が予定されています。



資料：防災船着場整備計画 改訂版（東京都、平成 28（2016）年 1 月）、通常運行ルート TOKYO CRUISE（東京都観光汽船（TOKYO CRUISE））（令和 4（2022）年 2 月時点）、東京水辺ライン「水上バスで行こう！」運航コース（東京都公園協会）（令和 4（2022）年 2 月時点）、東京湾ライナー運行コース（株式会社東京湾クルージング）（令和 4（2022）年 2 月時点）、国土地理院基盤地図情報を基に作成

図 28 中央区内の観光ルートと乗降場所

2.2.5 コミュニティサイクル

- 中央区コミュニティサイクル事業は平成27(2015)年10月に開始したサービス(令和2(2020)年3月までは実証実験)であり、令和2(2020)年7月時点で、東京都内11区(千代田・中央・港・新宿・文京・江東・品川・目黒・大田・渋谷・中野)全てのサイクルポートで貸出・返却をする広域相互利用が可能となっています。
- 中央区におけるコミュニティサイクルの利用回数とサイクルポート数は、サービス開始時から令和2(2020)年度まで増加しています。
- 中央区全域にサイクルポートが分布しており、その数は令和4(2022)年2月時点で合計 66 箇所となっています。



図 29 中央区内のサイクルポート



図 30 中央区のコミュニティサイクル利用回数・サイクルポート数の推移

資料：区内のコミュニティサイクルの利用状況（中央区、令和3（2021）年7月）を基に作成
 ＊サイクルポート数は各年度末の実績

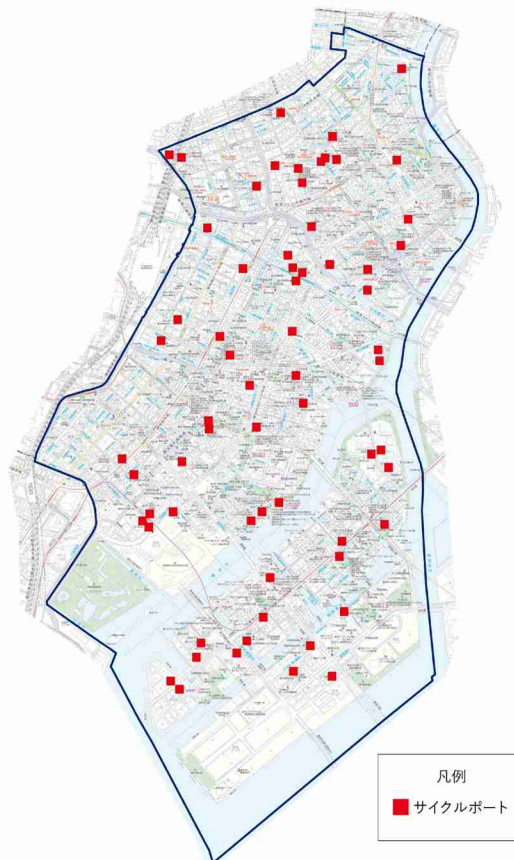


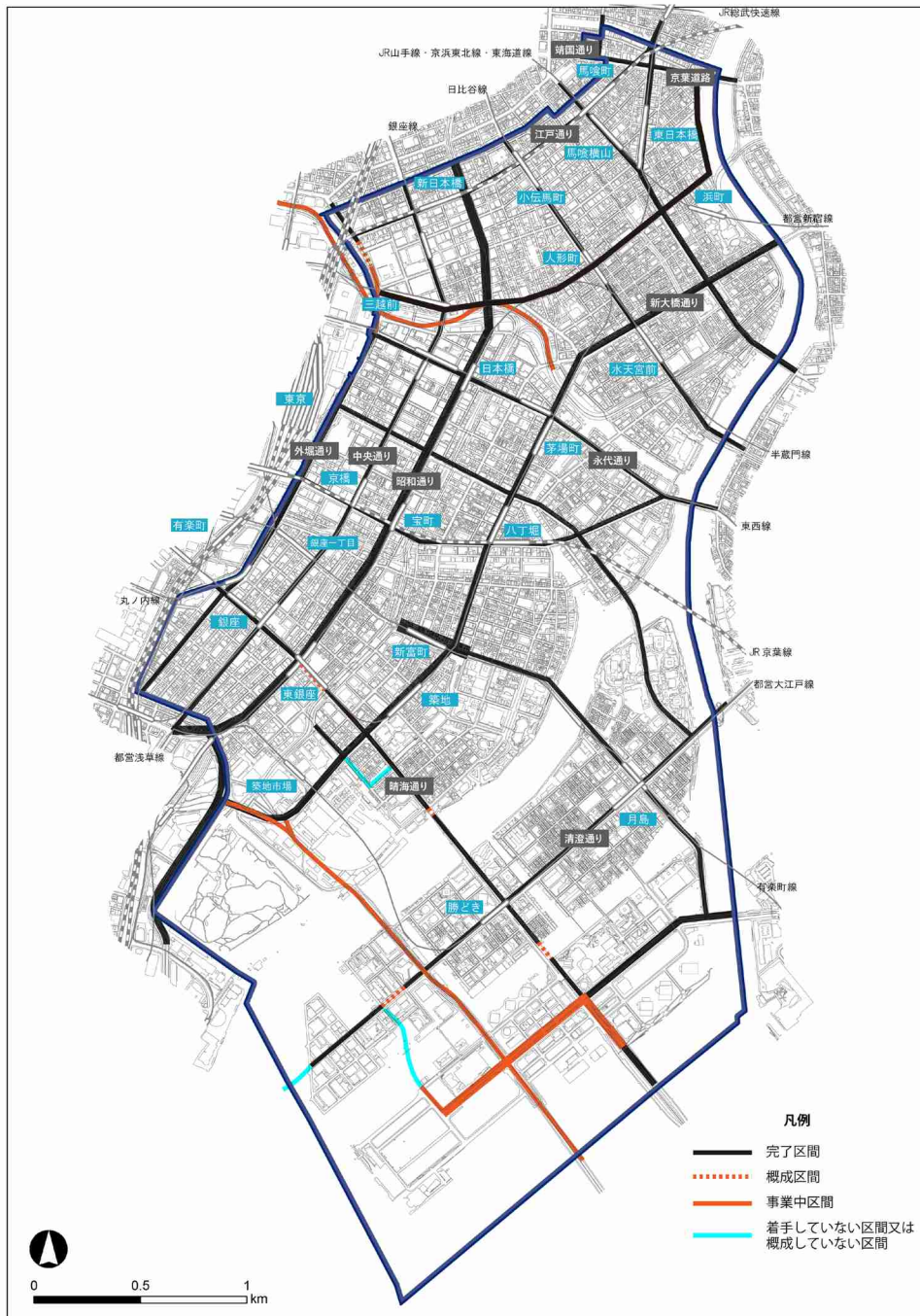
図 31 中央区内のサイクルポート位置

資料：中央区資料を基に作成

2.2.6 道路

(1) 整備状況

- 道路は、中央通り、江戸通り、永代通り、京葉道路、昭和通り、新大橋通り、晴海通りなどの国道や都道のほか、区道が網の目のように整備され、道路率は約29%と23区で最も高くなっています(令和2年度特別区土木関係現況調書(特別区土木主管課長会、令和2(2020)年4月))。
- 都市計画道路の整備完成率は89%と23区で最も高く(令和2年都市計画現況調査(国土交通省、令和2(2020)年3月))、環状第2号線の地上部道路が令和2(2020)年に開通しています。また、首都高速道路日本橋区間の地下化の事業が進んでいます。

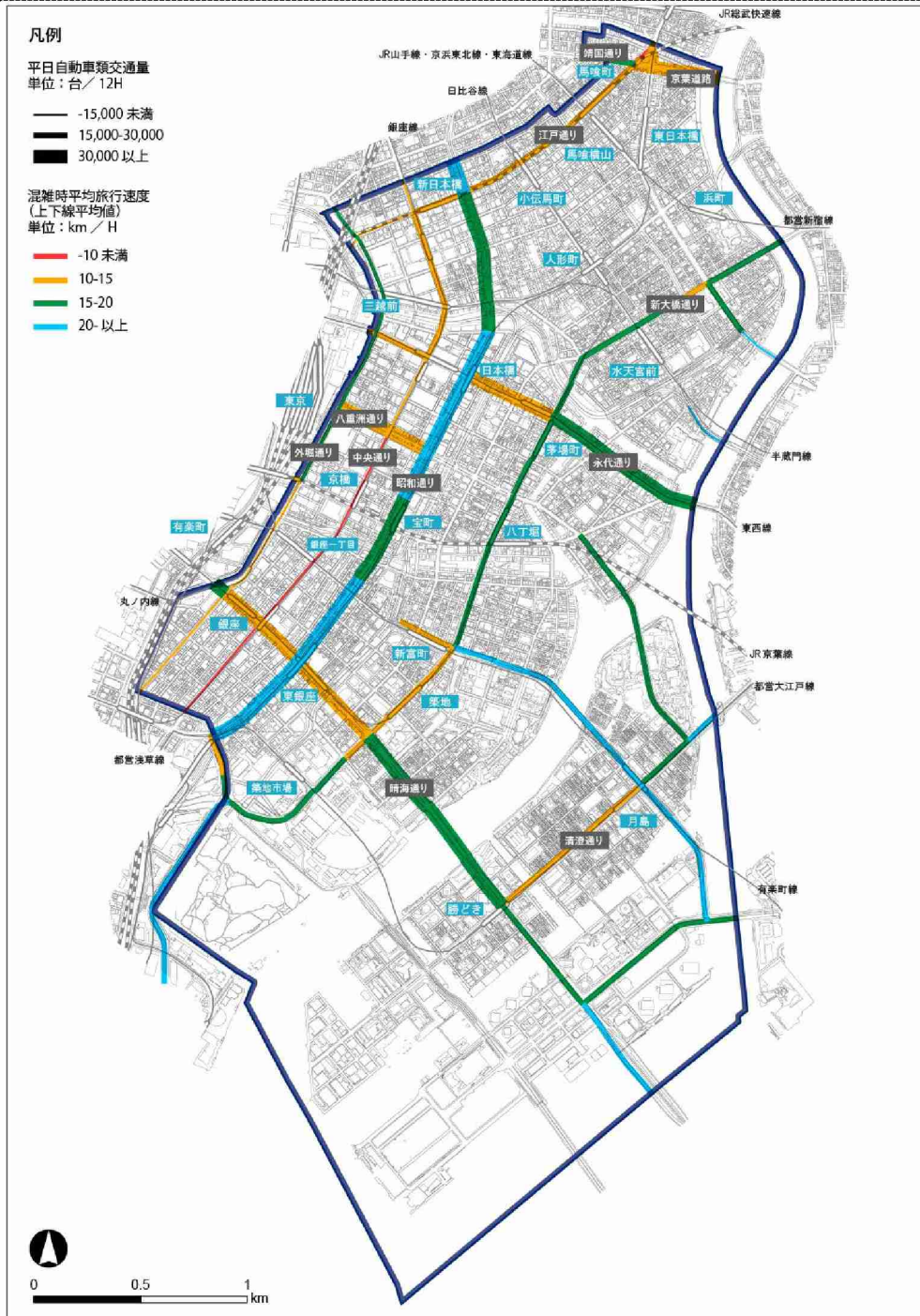


資料：都市計画施設図（2022年2月現在）（中央区、令和4（2022）年2月）、国土地理院基盤地図情報を基に作成

図 32 都市計画道路路線網図

(2) 交通量

- 交通量は、昭和通り(3万8千台/12時間)や京葉道路(2万8千台/12時間)、永代通り(3万2千台/12時間)、八重洲通り(3万3千台/12時間)、晴海通り(3万1千台/12時間)などの路線が多くなっています。
- 混雑時平均旅行速度は、中央通り(9.5km/時)や八重洲通り(10.8km/時)、永代通り(18.3km/時)、外堀通り(17.8km/時)、晴海通り(17.1km/時)などでは、23区内道路の平均である18.7km/時を下回っており、混雑しています。

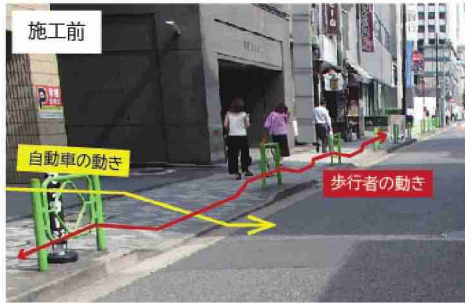


資料：平成 27 年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 集計表（国土交通省、平成 29（2017）年 6 月）
国土地理院基盤地図情報を基に作成

図 33 区内道路（一般道）の交通量と混雑時平均旅行速度

(3) 歩道のセミフラット化

- 区道におけるセミフラット方式の歩道は、これまでに約16,300mが整備されました。引き続き計画的に整備を進める必要があります。



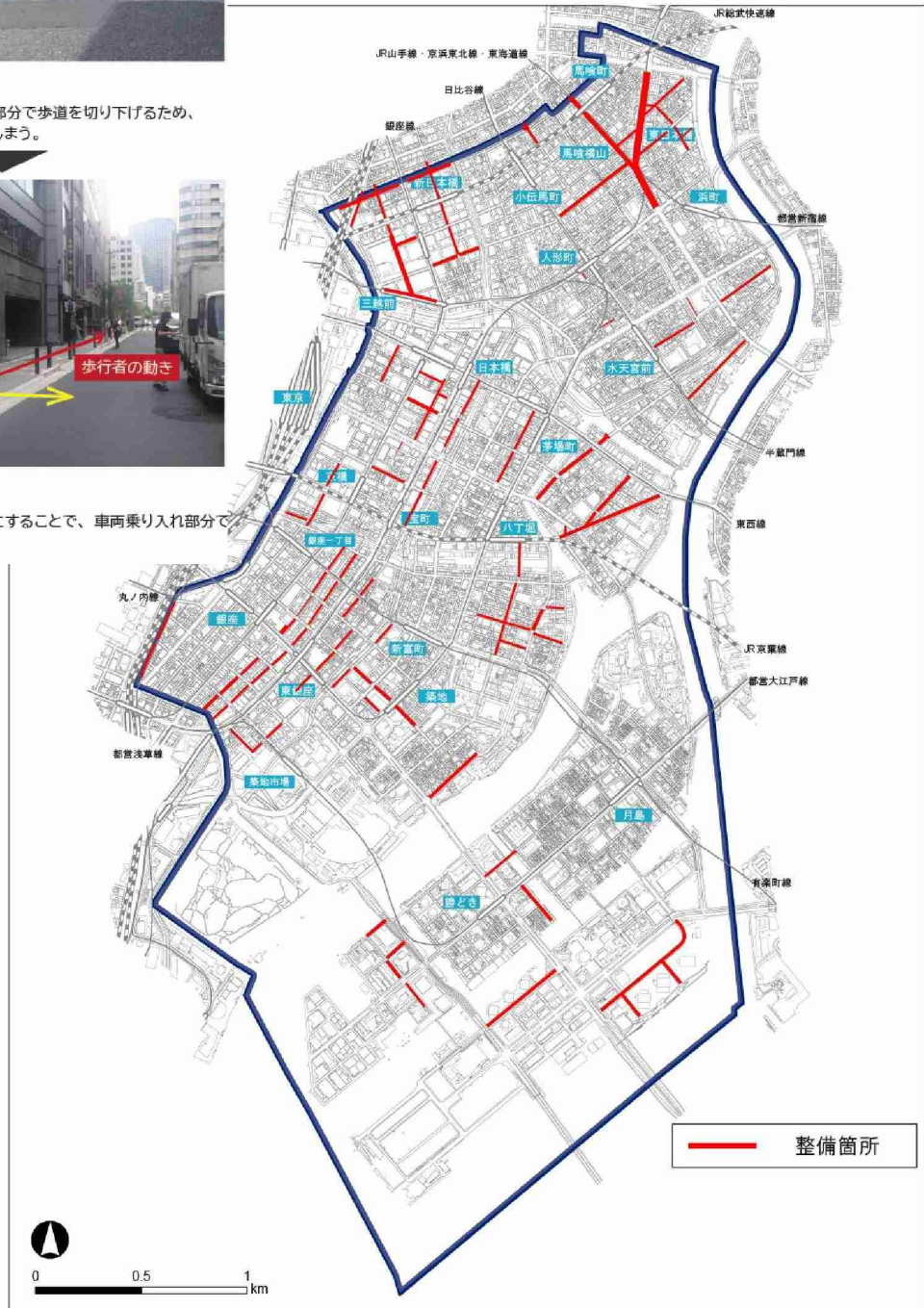
マウントアップ方式の歩道

駐車場や枝道等の車両乗り入れ部分で歩道を切り下げるため、上下の変動が多い歩道となってしまう。



セミフラット方式の歩道

車道と歩道をおおむね同じ高さにすることで、車両乗り入れ部分で歩道の上下の変動を小さくする。



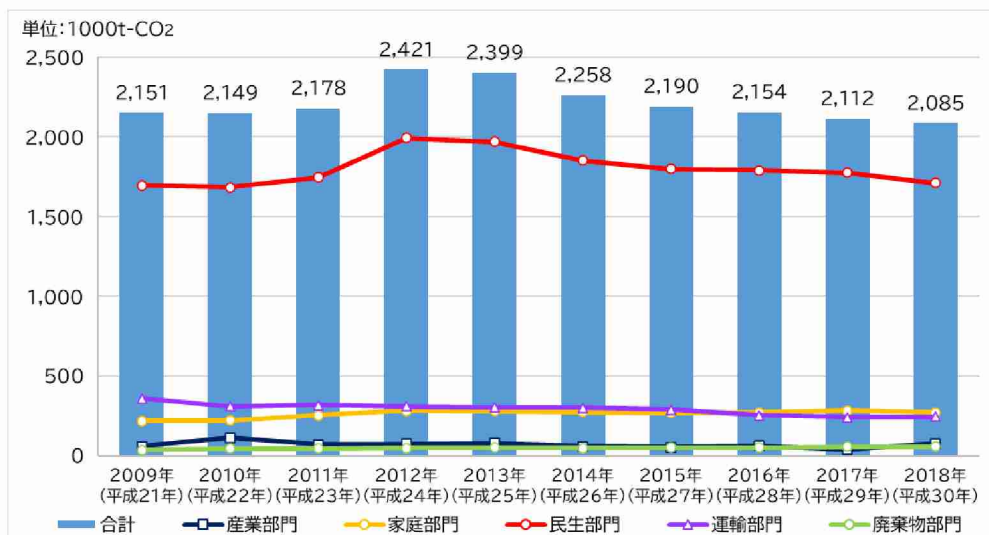
資料：セミフラット整備箇所図（中央区、令和3（2021）年3月）、国土地理院基盤地図情報を基に作成

図 34 区内歩道のセミフラット化の整備状況

(4) 環境への影響

a) 二酸化炭素の排出状況

- 中央区でのCO₂排出量は、ピーク時にあたる平成24(2012)年の2,421[千トン-CO₂]に対して、平成29(2017)年では2,112[千トン-CO₂]と約13%減少しています。
- 運輸部門をはじめ、多くの部門でCO₂の排出量は減少傾向にありますが、家庭部門、廃棄物部門においては、増加傾向となっています。



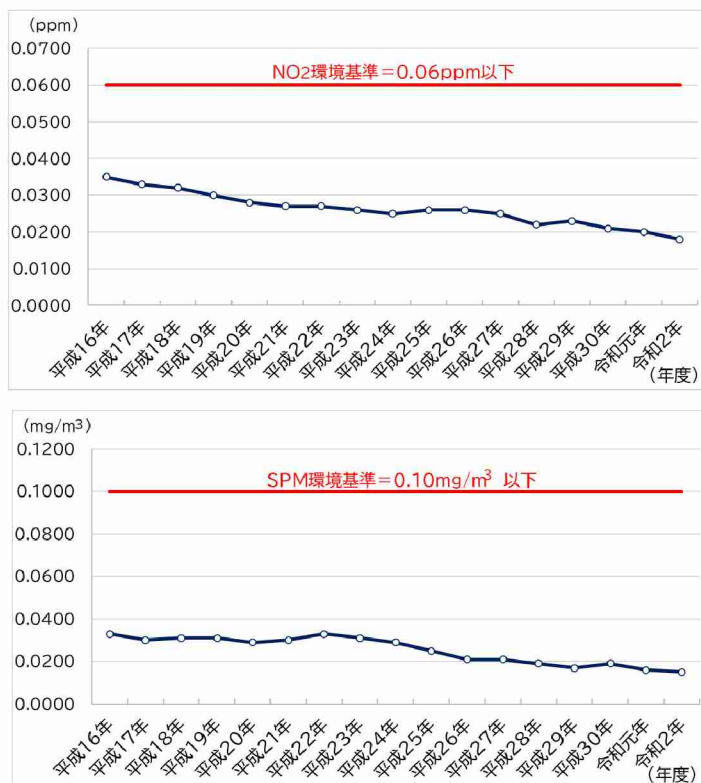
資料：特別区の温室効果ガス排出量（1990年度～2018年度）
（オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」、令和3（2021）年3月）を基に作成

図 35 中央区の二酸化炭素の排出状況

b) 大気汚染及び自動車騒音の状況

- 都のディーゼル車規制などの取組により、二酸化窒素(NO₂)や浮遊粒子状物質(SPM)は環境基準を下回るなど大気汚染は改善されています。
- 自動車騒音は、測定している区内11地点全てで、各地点の要請限度※(昼:75dB 夜:70dB)よりも小さい値となっています。

※ 環境省令で定める限度で、その限度を超えていることにより、道路周辺の生活環境が著しく損なわれる場合は、都知事は公安委員会に交通規制等の措置をとるよう要請するもの



資料：環境測定データ集 令和2年度（中央区、令和4（2022）年1月）

図 36 大気汚染物質（NO₂、SPM）の推移



資料：環境測定データ集 令和2年度（中央区、令和4（2022）年1月）

図 37 自動車騒音